

サントリー 攻め一貫

強力サーブで主導権

最終日の6日、大阪市中央体育館であった男女の決勝。女子は、プレミアリーグ入れ替え戦で復帰を逃したJT（大阪）がトヨタ車体（愛知）にストレート勝ちして2連覇を阻んだ。男子は、プレミア準優勝のサントリー（大阪）が4年ぶりの頂点を狙った東レ（静岡）を降した。（1面参照）

第64回
黒鷲旗
全日本男女選抜
バレーボール大会
最終日
主催 毎日新聞社
日本バレーボール協会

最高殊勲選手に贈られる黒鷲賞は、男子はエバンドロ（サントリー）、女子は中村亜友美（JT）がそれぞれ初受賞した。最優秀新人賞の若鷲賞は、男子が石川祐希（中大）、女子は比金桃子（トヨタ車体）が選ばれた。大会期間中の入場者数は2万9100人で、前回大会を2200人上回った。

JT 3	252525	0	トヨタ車体
▽男子決勝			
サント 3	252517	1	東レ
リント	20152225	0	トヨタ車体

○：現役最後の試合となった東レのポヨビと、すこく幸せです。感極まった」と目を熱くした。2008年に加入してから7シーズン。セルビア出身のアタッカーの日本でのプレーが相手チームをも魅了した証だった。

男子・エバンドロ
女子・中村黒鷲賞
ともに初受賞

東レ・小林監督の敗戦の弁が試合を端的に表していた。「サーブ力と攻撃力で相手が上回っていた」。サントリーがそのサーブ力を発揮したのは、セットカウント1-1で迎えた第3セットだ。6-3の場面でサーバーは鈴木。本来は無回転のジャンプフロ

スパイク

ーターサーブだが、使用球の変わった今大会はジャンプサーブもこなす。ジャンプサーブでノータッチエースを決め、リードを広げた。さらに17-11から再びエース。鈴木は「サーブで攻めるのがサントリーらしさ」と攻めの姿勢を貫いた。

た。22-14からはピンチサーバーとして投入された柳田が連続エースを奪う。第3セットをものにする、そのまま押し切った。慶大から今春入社した柳田は「先輩たちに伸び伸びやらせてもらった」と指揮官が作り出すチームの雰囲気

【武藤佳正】



サントリー 東レを破って優勝し、喜びサントリーの選手たち 三浦博之撮影



サーブを打つサントリーの鈴木 三浦博之撮影

- ：女 子：○
- 【黒鷲賞】中村亜友美
- 【敢闘賞】竹田沙希
- 【若鷲賞】比金桃子
- 【ベスト6】
- 芥川愛加、奥村麻依、中村亜友美、田中瑞穂
- 【以上JT】竹田沙希
- 【以上トヨタ車体】平松美有紀
- 【ベストリベロ賞】井上琴絵

- 【黒鷲賞】エバンドロ
- 【敢闘賞】石川祐希
- 【若鷲賞】石川祐希
- 【ベスト6】山村宏太
- 山雅史
- 【以上サントリー】ポヨビッチ
- 秀知
- 【ベストリベロ賞】鶴田大樹